

いしだたみ

No.149

2005年12月

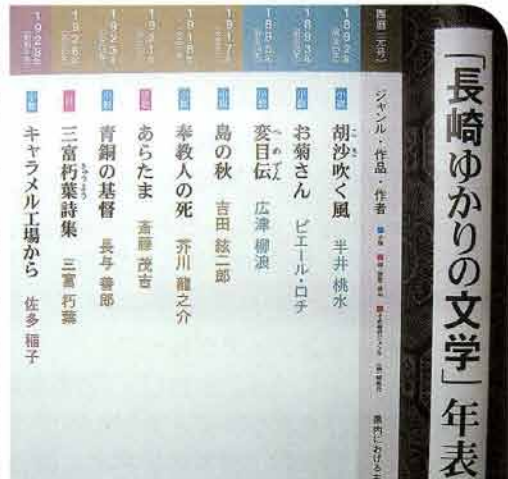
～「郷土課(4階)」リニューアル開室～

本館「郷土課」所蔵の長崎学関連の古文書等が、さる11月に開館した長崎歴史文化博物館へ移管したのに伴い、「郷土課」が歴史中心から郷土に係わる文学、行政資料、県内市町村の各種資料、県内の観光・経済・原爆等の資料など、近・現代の長崎県の情報の発信基地として12月1日(木)からリニューアルしました。ぜひ、来館して郷土長崎のすばらしさを再発見してください。

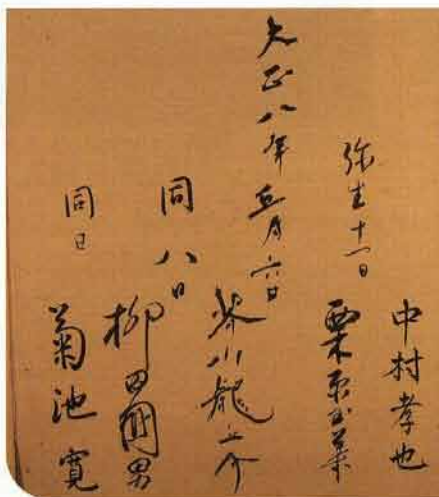
〔郷土作家作品展示コーナー〕
今回は、伊東静雄・市川森一・佐多稲子・白石一郎・林京子・村上龍・福田清人各著作(サイン入りもあります)を展示しています。



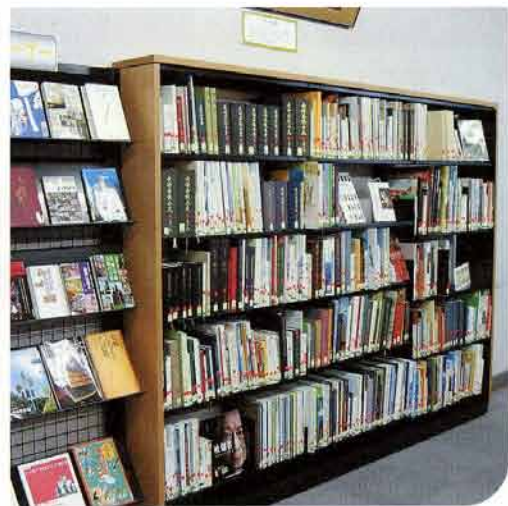
〔郷土作家コーナー・長崎ゆかりの文学年表〕



〔芳名録コーナー・53冊を順次展示〕
今回は中村孝也(東大国史学科教授)、栗原玉葉(旧吾妻町出身の女流作家)、芥川龍之介(作家)、柳田国男(民俗学者)、菊池寛(作家)等を展示しています。



〔郷土資料の開架を増設〕



もくじ

- ◎「郷土課(4階)」リニューアル開室 P 1
- ◎読書の秋に行われた県内の催し P 2
- ◎『東彼「子どもの本の会」』が全国表彰を受賞 P 3
- ◎「県立長崎図書館講座」全3回終了・ミニ統計 P 4
- ◎県立長崎図書館協議会開催・Q & A「郷土資料」 P 5
- ◎ブックメールサービス・お知らせ P 6



1。平成17年度長崎県図書館活動推進大会

■ 去る10月17日(月)、西有家町総合学習センター「カムス」において、平成17年度長崎県図書館活動推進大会が開催されました。今回は、「子どもの成長を支える図書館をめざして」のテーマのもとに活動状況発表、講演がなされ、図書館関係者や読書グループなど約140名の参加がありました。

開会行事につづいて、読書会の活動をとおして、地域の図書館活動に寄与した優良団体等の表彰が行われました。

その後、2つの図書館の実践活動について発表がありました。口之津町立前図書館長 宮寄義彰氏による『「子ども読書活動推進」委嘱(文部科学省)を受けて』の発表は、学校・家庭・図書館の連携と、地域における子ども読書環境整備の具体的実践例として示唆を与えるものでした。

次に、佐世保市立図書館長 宮崎隆夫氏による『「おはなしフェスティバル in させぼ」開催から得たこと』の発表が行われました。県北地域における初めての開催ということで、組織づくりと支援体制づくりの難しさについて発表していただき、公共図書館サービスに一石を投じたものとなりました。

最後に、特定非営利活動法人ブックスタート理事 佐藤いづみ氏による「ブックスタートの広がり」と題した講演が行われ、わが国におけるブックスタートの創始者としてのご苦労と現在の活動状況について興味深いお話をいただきました。

県読書活動優良団体表彰

- 図書ボランティアグループ
「こもれび」(西有家町)
- 読み聞かせボランティアグループ
「びーちゃんくらぶ」(佐々町)

社団法人 読書推進運動協議会表彰(全国)

- 東彼「子どもの本の会」(川棚町)



口之津町立図書館の取り組みを発表する宮寄前館長

表彰団体の横顔

「こもれび」(西有家町)

町内の小学校で、毎週1回朝の読み聞かせと月1回昼休みに「お話し会」の開催のほか、図書室の環境整備を行っている。

町内の中学校でも毎週1回読み聞かせを行っているほか、地元図書館での読み聞かせや、要望があれば幼稚園・保育園等にも出向いて活動している。

「びーちゃんくらぶ」(佐々町)

町立図書館での年間100回を超える読み聞かせ活動によって、毎年2,000人以上の子どもたちがたくさんのお本に出会っている。町内2つの小学校で定期的に出前読み聞かせを行っているほか、図書館イベントへの協力等の活動も行っている。要望に応じて、幼稚園・学校・老人ホーム施設への出掛け読み聞かせも実施している。





2. 長崎県読書グループ連絡協議会・史跡見学

■ 11月4日（金）、心配していたお天気も見事回復、爽やかな秋晴れとなり、長崎県読書グループ連絡協議会の史跡見学が実施されました。

今年は、「キリシタン禁制と大村藩」と題して、大村市教育委員会文化振興課学芸員の今村明氏と大村市立図書館長の森崎兼廣氏を講師としてお招きし、大村市立史料館、玖鳥城、大村純忠史跡公園、今富キリシタン墓碑、本経寺・大村家墓所などを訪れました。



大村家墓所は、小藩ながら、巨大で様々な墓が立ち並んでおり、これらの墓はキリスト教から仏教へと転換する江戸時代の宗教政策を表したもので、国の歴史を表す文化財として、平成16年9月30日に国の史跡に指定されました。

各読書グループから78名の参加があり、大村藩が歩んだ特異な宗教政策を辿りながら、参加者は当時へ想いを馳せていました。



『東彼「子どもの本の会」』が全国表彰を受賞



社団法人 読書推進運動協議会から平成17年度第38回優良読書グループとして、『東彼「子どもの本の会」』（川棚町）が全国表彰の栄誉に輝きました。ここに本会の活動についての御紹介をいたします。

「子どもの本」って楽しい

東彼「子どもの本の会」は、昭和50年に誕生しました。優良読書グループとして、「社団法人読書推進運動協議会」から全国表彰をいただくことになって、改めて30年間のぼちぼち歩きを振り返っているところです。

月1回の例会（子どもの本の学習・事業計画など）も、355回開いています。14名程の会員で、例会は歌遊び・手遊びから始まって、本の紹介、年間計画の月毎のテーマの順に進行していきます。この例会が途切れなかったのは、2人の集まりであれば例会を成立させ、記録に残したことだと思います。会報係がいて記録に留め、論議をしたことを整理し、次回に引き継いだり確認できました。

主として活動内容は、次の5項目でした。

- (1) 定例会（第2日曜日）
 - (2) おはなしのへや（第4日曜日）
 - (3) ブックスタート支援（第3木曜日）
 - (4) スペシャルお話のへや（年3回）
 - (5) 保育園・幼稚園・小学校での読み語りなど
- これらの活動は

- 子どもたちにすぐれた本を！
- 大人の責任ですぐれた本を子どもたちの身近に！
- 私たちの町に公共図書館を！



というモットーを実現していくための実践の場と確認したものです。

過去、作家、読書運動・子どもの本研究家の方々の講演学習会も開き、たくさんの御指導をいただきました。「子どもの本」って素晴らしい、楽しいと思ったら子どもと共有できて留まることのない活動となっていくのでしょうか。子どもの本と出会える大人が広がり、子どもたちに絵本や童話の本を手渡す作業や環境づくりが大切なことだと思うと、大人の責務の大きさを感じます。

文化の拠点、生涯学習の拠点、町づくり人づくりの拠点となる公共図書館が、私たちの町に存在することを願って止みません。今年は文字・活字文化振興法も成立し、地方自治体の活発な視点の向け方を期待するものです。

（文責 事務局 藤本幸雄さん）

平成 17 年度「県立長崎図書館講座」全 3 回終了

■ 本館では広く県民の皆様に生涯学習の場を提供することをねらいとして、標記講座を開催しました。

第 1 回は、県立長崎北高等学校 松尾公則教諭を講師として迎え「カエルに魅せられて～長崎県の野生動物の現状と展望～」と題して、身近なカエルの生態系を知ると共に、絶滅する希少野生動植物の保存についてお話をしていただきました。



第 2 回は、長崎女子短期大学 田中正明学長、活水女子大学 田中俊廣教授、長崎歌人会 馬場昭徳常任委員の 3 名を講師として迎え「長崎の文学を語る－その特色と現在－」と題して、郷土長崎の人材・素材等全国に類を見ない文学の豊かさについてお話をしていただきました。



第 3 回は、県立長崎シーボルト大学 岩崎義則助教授、学芸文化課 大石一久指導主事、県立長崎図書館 本馬貞夫副館長を講師として「歴史研究の楽しさと、その方法」と題して歴史研究の魅力についてお話をしていただきました。

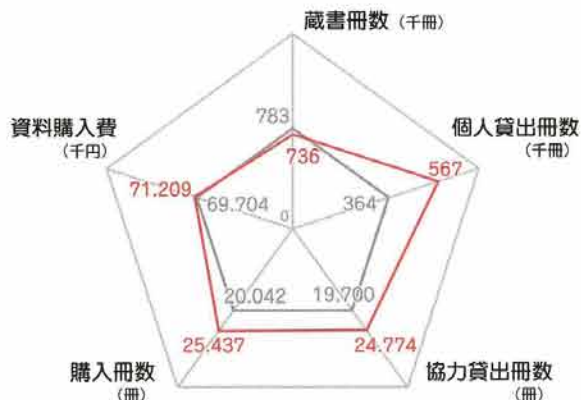
3 回とも講師の方々には郷土長崎をテーマとしたお話をしていただき、参加者の皆様に郷土のすばらしさ、郷土への誇りを感じていただくことができました。

参加者からのアンケートによると、回答をいただいた約 80 % の方が「講座内容に満足した」とほぼ好評であり、来年以降の開催を望まれていました。



ミニ統計

「全国から見る長崎県立長崎図書館のすがた」



※ 蔵書冊数—図書の冊数(雑誌を除く) 個人貸出冊数—図書の個人貸出冊数
資料購入費—図書の資料購入費 協力貸出冊数—市町村立図書館等への貸出冊数
購入冊数—図書の購入冊数(雑誌を除く)

— 平成 16 年度長崎県立長崎図書館
— 平成 15 年度都道府県立図書館の平均

- 蔵書冊数—九州順位 3 位、全国順位 20 位
- 個人貸出冊数—九州順位 2 位、全国順位 10 位
- 協力貸出冊数—九州順位 2 位、全国順位 9 位
- 購入冊数—九州順位 2 位、全国順位 10 位
- 資料購入費—九州順位 3 位、全国順位 17 位

協力貸出冊数が示すように、長崎県立長崎図書館の図書は本館での利用と共に、県下の各図書館等を通して、県民の方々に利用されています。

(日本図書館協会「日本の図書館」から)

平成 17 年度第 1 回長崎県立長崎図書館協議会開催

去る 9 月 22 日（木）に長崎市（セントヒル長崎）で平成 17 年度第 1 回長崎県立図書館協議会が開催されました。当協議会は、館長が広く各界各方面の代表の方々から、図書館運営に関しての助言を受けたり、意見を伺うことにより、よりよい図書館運営の参考とするための協議会です。

委員の構成は、学校関係、社会教育関係、学識経験者、一般公募で選ばれた委員等 10 名で構成されています。

当日は、指定管理者の導入や県立図書館の役割等についての活発な協議がなされ、今後の県立図書館のあり方について貴重な御意見をいただきました。

委員名簿（任期 H17 年 7 月 22 日～H19 年 7 月 21 日）

氏名	所属
古峨 和之	長崎県立長崎北高等学校長
入江 良一	長崎市立西坂小学校長
守永 恵	長崎県社会教育委員
柴田 淳	長崎県 P T A 連合会副会長
宮崎 隆夫	佐世保市立図書館長
喜多 芳明	活水女子大学文学部助教授
丹羽 梢	長崎おはなしの会事務局長
宮川 雅一	長崎県地方史研究会長
吉田千鶴代	公募委員
尾崎 寿美	公募委員

Q & A 「郷土資料」の移管について

Q 1 郷土資料の一部が長崎歴史文化博物館（以下、「博物館」）へ移ったと聞きましたが、どんな資料が県立図書館郷土課（以下、「図書館」）から博物館へ移ったのでしょうか？

A 1 現在の長崎県地域に関する資料、いわゆる「長崎学」に関するもののうち、明治時代までの文書・絵図・写真など、また、これらの資料を基に著された研究書、県内の各地方史研究団体の論文などが博物館へ移管されました。以下のような大別がなされ、博物館には、無料で資料閲覧できる「長崎学相談コーナー」が開設されています。

図書館 4 階 郷土資料コーナー

- *長崎に関する文学 *大正時代以降の県庁、県機関の記録、市町村の要覧、広報誌
 - *原爆や平和に関する資料 *県内の産業史、各企業の社史（過去の住宅地図、電話帳）
 - *大学、短大、高校の研究紀要 *雲仙国立公園、西海国立公園の資料
 - *観光、各種イベント、グルメ案内
- 戦後に始まった行事に関しては、イベントマップ、パンフレットなどが閲覧できます。

博物館 長崎学相談コーナー

- *長崎に関する歴史、郷土史、方言 *明治時代までの県庁県機関の記録 *郷土料理、菓子
 - *古賀文庫、渡辺文庫等の各種文庫 *おくんち、精霊流し、ペーロン、ビードロ、べっ甲
- 博物館でお調べいただいた後、図書館で長崎新聞の記事などをご覧いただくと、さらに詳しく調べることができます。

Q 2 郷土出身の著名人について、調べたいのですが？

A 2 大正時代以降の次に関する事からは、図書館で詳しく調べることができます。

- ①文学者、文学作品（生の原稿、色紙類もあります。）
- ②長崎市内、近郊の同人誌・短歌・俳句集
- ③画家、彫刻家の画集、作品集
- ④長崎県内の学校の記録

明治時代までの来日外国人（シーボルト、グラバー家など）、長崎への遊学者に関することは、博物館で詳しく調べることができます。

Q 3 長崎日日新聞・東洋日の出新聞・長崎新聞は、以前のように閲覧できますか？

A 3 少し、仕組みを変えました。新聞に関しても、「明治時代まで」で線引きをしています。「明治時代まで」のものは、博物館に移りました。図書館 4 階では、「大正時代以降」の新聞を、閲覧できます。

障害者ふれあいブックメールサービスの御利用について

県立長崎図書館では、県内在住の方で、何らかの障害を持つため図書館などを利用することのできない方々へ、無料で図書の郵送貸出サービスを行っています。

●対象者

県内在住の身体障害者手帳をお持ちの方で、その障害の程度が下記に該当される方。

両下肢、体幹、移動機能の障害、視覚障害	1～2級
---------------------	------

心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害	1～3級
--	------

●利用について

22日間、50冊まで借りることができます。送料は県立長崎図書館が往復負担します。

●申し込み方法

県立長崎図書館 奉仕課までお問い合わせください。

登録申込書を送付しますので、必要事項を記入し、添付書類を同封の上、県立長崎図書館あてに郵送でお申し込みください。

●問い合わせ先

長崎県立長崎図書館 TEL 095(826)5257
FAX 095(826)9285



お知らせ

☆郷土課の新しいサービスについて☆

- ①これまで図書館4階の「郷土課」では、ほとんどの図書が書庫内にありましたが、利用者の方々に手にとってご覧いただけるよう、開架図書を増やしました。
- ②郷土に関するVTRやDVDを館内で視聴できるようにしました。
- ③展示室では、長崎県の文学・観光・教育・市町村情報に関する展示を行います。大正8年から現在まで、保存されている『芳名録』の展示スペースも設けました。

☆本館ホームページについて☆

8月からインターネット回線を光ファイバー方式に改修いたしました。そのため、ホームページ等からの蔵書検索がスピードアップしております。利用者の皆様には今までホームページへのアクセスが遅いため御迷惑をおかけいたしました。が、より利用しやすく改善いたしましたので、御活用ください。

☆休館について☆

県立長崎図書館は、12月28日(水)から1月5日(木)まで、年末年始のため休館いたします。利用者の皆様には期間中御迷惑をおかけいたしますが、御理解と御協力をお願いいたします。なお、休館中の返却については、玄関入口横及び子ども室入口横にある返却用ポストに入れてください。